

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	低侵襲寛骨臼回転骨切り術施行患者における骨盤傾斜が歩行に与える影響
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 理学療法士 内田貴洋
研究参加拒否 申込受付期間	2028年2月28日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
対象者	2019年4月から2023年4月の間に当院整形外科にて寛骨臼形成不全と診断され低侵襲寛骨臼回転骨切り術を施行された成人女性
当該研究の意義・目的	本研究の目的は寛骨臼形成不全患者における低侵襲寛骨臼回転骨切り術施行前後の骨盤傾斜の変化および歩行に与える影響を明らかにすることです。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	対象は寛骨臼形成不全と診断され、低侵襲寛骨臼回転骨切り術を施行予定で、術前から歩行が可能な患者を対象とします。検査からの評価項目として、単純X線画像から術前における立位での骨盤前傾角度、術前後の大腿骨頭被覆率を算出します。身体機能の評価は股関節の筋力、関節可動域を測定した、また、三次元動作解析装置を使用して術前および術後の歩行を計測します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られたデータを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 評価項目として単純X線画像から骨盤の前傾角度、術前後の大腿骨頭被覆率を算出します。身体機能の評価は股関節の筋力、関節可動域を測定します。歩行はの計測については、歩行速度、歩幅、骨盤前傾角度、歩行中における股関節の関節角度および関節モーメント等とします。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がな

究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	い範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧くださいことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 医療技術部 リハビリテーションセンター 理学療法士 内田貴洋 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25291）

作成日：2025 年 5 月 20 日